

ほけんだより

令和2年度 6月号

緊急事態措置が解除されましたが、新型コロナウイルスは終息に至っていません。また、感染拡大する可能性があるかもしれません。第3波・第4波を引き起こさない為に引き続き「こまめな手洗い」「咳エチケット」等、感染拡大防止に向けた取り組みを行っていきましょう。合わせて可能な限り家庭保育の協力、お願い致します。

〜〜 4・5月の感染症情報 〜

4・5月：溶連菌感染症・・・・・・・・・・2名（ぺんぎん組 1名 らっこ組 1名）

??? 溶連菌感染症とは ???

高熱、喉の痛み、頭痛等など、風邪症状が出ます。鮮紅色の細かい発疹が全身にみられたり、舌が赤く莓のようになるとりする場合があります。病院では抗生物質が処方される事が多く、処方薬を飲み始めてから24時間以上経過し、熱が下がり、食事がいつも通り食べられるようになったら登所可能です。

園医健診のお知らせ



6月18日（木）園医健診を行う予定です。対象クラスはあかちゃん組・ぺんぎん組 らっこ組です。日程が近くなりましたら掲示物などで改めてお知らせ致します。

問診票の記入等、ご協力お願いします。（4月に延期になっていた大きいぺんぎん組も一緒に行う予定です。）



熱中症にご用心



身体が暑さに慣れていないこの時期こそ、熱中症を起こす危険性が高いのです。日中の予想気温に合わせて調節しやすい服装での登所をお願いいたします。



短時間でも車内や室内に乳幼児を一人で残す事は絶対にやめましょう

予防接種について

札幌市では、コロナウイルスの影響で無料の接種期間を逃してしまった家庭に特例措置を設けています。「感染が心配で今は予防接種を延期している。」という方もいるのではないかと思います。ワクチンで予防できるはずの感染症にかかって重症化してしまっは大変です。予防接種は極力、予定通り接種しましょう。合わせて保健センターで行う集団検診も再開されたら忘れずに受けましょう。

これからの季節は特にご注意を！夏に多い皮膚トラブル！！

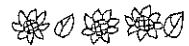
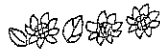
暑い夏は昆虫・細菌・ウイルスなど生き物も活発になる季節です。子ども達の柔らかく、薄い肌はターゲットになりやすく、代謝も良いため汗もよくかきます。水遊びシーズン前にもう一度 お子さんの肌の状態を確認してみてください。

皮膚トラブルは、『感染対策』と『痒み対策』が大切です。皮膚はもともと感染に対する防護機能があります。しかし、この機能は湿疹や傷、乾燥などでつい掻いてしまうことで壊れやすく、細菌やウイルスを侵入させてしまいます。痒みは温まると強くなり、冷やすと和らぎます。

皮膚トラブルを抑えるために「爪は短く切って清潔にする」「汗をかいたらきれいに拭く」「衣類は通気性・吸水性の良いものにして、こまめに着替える」など常に清潔でいられるようにいつも以上に気をつけてみて下さい。

また、皮膚の乾燥は肌の防護機能を低下させます。お子さんの身体を洗う時はナイロンタオル等でゴシゴシ擦らず、(お母様達が洗顔する時のように)しっかり泡立てた泡でなでるように優しく洗うのが望ましいです。市販のボディソープは子どもの肌油分を過剰に流してしまうため、ベビー石鹸や敏感肌用石鹸を使ってみましょう。乾燥肌のお子さんは夏こそ保湿を意識したスキンケアをしっかりと行いましょう。

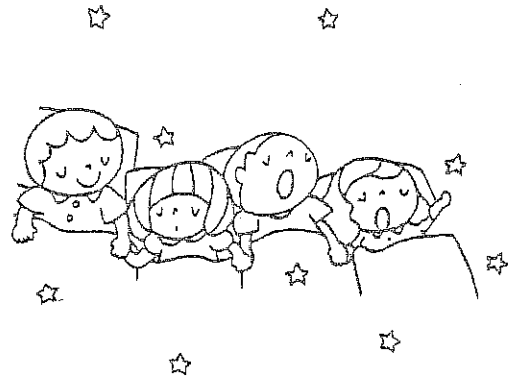
これから暑い日には水遊びを行います。とびひや水イボなどの感染性疾患があったり、発疹や傷などで皮膚がジクジクしている時は水遊びが出来ません。今から気を付けていきましょう。



頭ジラミって知っていますか？

季節に関係なく、不潔とは無関係に生息していて、人から人へ感染します。頭ジラミは頭皮から血液を吸うため、痒みが発生します。最近では痒みを感じない子も多く、知らないうちに感染している場合もあります。

保育所では月に一度、全園児の頭髪をチェックする日を設けています。頭ジラミの成虫は丁寧な洗髪で駆除できますが、タマゴは専用の櫛ですいても駆除しきれません。感染が疑わしい場合は皮膚科を受診して下さい。頭ジラミは感染症ですのでわかった場合は保育所にお知らせ下さい。頭を付けて寝たりすると家族間で(大人にも)感染するので十分気を付けましょう。



発熱後の登園について

熱が出ると体力が奪われて、身体は一時的に弱った状態になります。熱が下がった後 24 時間は家庭でゆっくりと過ごしましょう。

